

R7. 8.25(月)実施

成人看護学方法論4 試験問題 吉本先生

1. WHO が 2002 年に定めた緩和ケアの定義について( )に適切な言葉を入れなさい。
- 緩和ケアとは、( )<sup>①</sup> )に直面している( )<sup>②</sup> )に対して、疾患の早期から、痛み、身体的問題、( )<sup>③</sup> )、スピリチュアルな問題に関してきちんとした評価を行い、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、( )<sup>④</sup> )ためのアプローチである。
2. がん性疼痛に関して、下記の文章で正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。
- ( ) ①痛みは脳皮質で認識される。
- ( ) ②痛みの評価をする際に、患者が痛いと言っている、多方面からのアセスメントの結果、痛みがなさそうであれば、疼痛コントロールはできていると評価する。
- ( ) ③痛みの閾値を上げるために、リラクゼーションや人とのふれあいは効果的である。
- ( ) ④痛みの伝達で第一ニューロンは、脊髄後根から視床下部までの伝導のことである。
- ( ) ⑤術後創部の痛みは、痛みの分類では内臓痛に分類される。
- ( ) ⑥患者の苦痛を緩和することは看護師の役割であり、多職種アプローチが必要である。
3. 下記の問いに答えなさい。
- ①緩和ケアについて正しいのはどれか。( )
- ア. 患者の家族は対象に含まない。
- イ. ケア計画書は多職種が話し合って立案する。
- ウ. 疼痛コントロールの第一選択はモルヒネである。
- エ. 根治的な治療法がないと医師が説明した時から始める。
- ②QOL を評価する項目で最も重要なものはどれか。( )
- ア. 高度医療の受療
- イ. 本人の満足感
- ウ. 乳児死亡率
- エ. 生存期間
- ③キューブラー・ロスによる死にゆく人の心理過程で第1段階目はどれか。( )
- ア. 死ぬことへのあきらめ
- イ. 延命のための取り引き
- ウ. 死を認めようとしないう否認
- エ. 死ななければならないことへの怒り

- ④スピリチュアルな苦痛の訴えはどれか。( )
- ア. 「腹痛がずっと続いています」
  - イ. 「吐き気が続くと思うと不安です」
  - ウ. 「今後の生活にかかるお金が心配です」
  - エ. 「これまでの自分の人生が意味のないものに思えます」

⑤Aさん(56歳)は、進行結腸癌の術後に両側の多発性胃転移が進行し、終末期で在宅療養中であつたが呼吸困難が増悪したため入院した。経皮的動脈血酸素飽和度は95%であるが、安静時でも呼吸困難を訴え、浅い頻呼吸となっている。発熱はなく、咳嗽はあるが肺炎の併発はない。

- Aさんへの対応で最も適切なものはどれか。( )
- ア. 仰臥位を保つ。
  - イ. 酸素投与は行わない。
  - ウ. モルヒネ塩酸塩の投与を検討する。
  - エ. 安静を保つため訪室は最低限にする。

- ⑥死前喘鳴について間違っている記述はどれか。( )
- ア. 顔を横に向ける
  - イ. 看取りが近い時期の特徴的徴候
  - ウ. 雑音が消失するまで吸引する
  - エ. 体位の工夫で軽減することがある

- ⑦がん患者の家族における社会的苦痛はどれか。( )
- ア. 「患者にはどのがん治療が適切なのか」
  - イ. 「なぜ自分の家族はがんに罹患したのか」
  - ウ. 「患者のがん治療を代わることはできないのか」
  - エ. 「治療の期間が長くなり、出費が続くと自分の生活はどうなるのか」

- ⑧がん性疼痛への患者自身の対処法で適切なものはどれか。( )
- ア. 痛みの部位や増強因子を把握する。
  - イ. 鎮痛薬は痛みが出現してから内服する。
  - ウ. 鎮痛薬の緊急追加(レスキュー薬投与)は最小限にする。
  - エ. 筋緊張訪によって痛みの軽減を図る。

⑨Aさん(46歳)は、肺がんの腰椎転移で治療中である。モルヒネ徐放錠 20mg を1日2回(午前9時、午後9時)とアセトアミノフェン 500mg を1日3回(毎食後)に内服して疼痛コントロールをしていたが、急性な痛みが出現した。

この時点のAさんへのレスキューとして用いられるのはどれか。( 〇 )

- ア. モルヒネ徐放錠
- イ. モルヒネ速放性薬
- ウ. アセトアミノフェン
- エ. 非ステロイド性消炎鎮痛剤
- オ.

⑩看取りが近い家族への支援に関する記述で不適切なのはどれか。( 〇 )

- ア. 今後どのような看取りがしたいか、希望を確認する。
- イ. 死が近づくとつれて変化していく患者の状態を説明していく。
- ウ. 様々な感情を秘めている可能性があるため、必ず全家族一緒に面談する。
- エ. 患者に対して何かしてあげたいという思いを尊重し、家族が出来ることをすすめる。

⑪エンゼルケアについて、誤っている記述を選びなさい。( 〇 )

- ア. 看取り後、家族でお別れをする時間を十分持てるように配慮した。
- イ. エンゼルケアは、看護師自身のグリーフケアにもつながる。
- ウ. 患者の元気なころのことや入院中の様子など、家族とともに過ごしてきた時間を振り返り、話ができるように関わった。
- エ. グリーフケアはエンゼルケアのあとに行うのがよい。

⑫乳がんの患者 ( 〇 )

- ア. 本人の満足感
- イ. 乳癌死亡率
- ウ. 生存期間

⑬キラー・ローズによる死にゆく人の心理過程で第1段階はどれか。( 〇 )

- ア. 死ぬことへのあきらめ
- イ. 死ぬのための取り引き
- ウ. 死を認めようとしないう否認
- エ. 死ななければならぬことへの否認

4. 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

Aさん(88歳、男性)は妻(82歳)と2人で暮らしている息子2人は独立して生活している。要介護は5で、エアマットレスを使用している。食事は妻の介助で1日1回ペースト食を食べているがむせることもあり、食事が全く摂れない日もある。排泄はオムツを使用し、毎日訪問介護サービスを利用して、オムツ交換と陰部洗浄を受けている。訪問看護は週3回利用している。Aさんは妻が話しかけると返事はするが、自発的な会話はしない。着替えをするときに上司を動かすと苦痛表情がある。

①Aさんの家族への助言で適切なのはどれか。( )

ア. 体位変換を2時間ごとに行う。

イ. 関節可動域訓練を1週間に1回行う。

ウ. ペースト食を食べる回数を1日3回にする。

エ. 食事を摂取できないときにも口腔ケアを実施する。

②2か月後、Aさんは食事を口から食べることができなくなり、かかりつけの医師から家族へ、そろそろ看取りの時期であり、看取りの場所を決めるように説明があった。息子たちから「父が長年住んだ家で最期まで過ごさせてあげたいと母とも話していますが、母が1人でみるのは大変だと思い心配しています」と訪問看護師に話があった。

この時の訪問看護師の対応で適切なのはどれか。( )

ア. 看取りまでの支援体制を説明する。

イ. 血圧が低下したら入院が必要なことを説明する。

ウ. 決定した看取りの場所は変更できないことを伝える。

エ. かかりつけの医師と訪問看護師で治療方法を決定する。

③Aさんは声をかけても返答したり目を開けたりすることもなく、穏やかな表情で眠っていることが多くなった。Aさんの妻は「夫は話しかけても何も答えてくれないので、どうしたらよいかわかりません」と訪問看護師に話した。

このときの妻への声掛けで適切なのはどれか。( )

ア. 「Aさんの体にできるだけ触れるようにしましょう」

イ. 「Aさんは苦痛を感じることはありません」

ウ. 「Aさんが休めるよう静かにしましょう」

エ. 「Aさんの世話を頑張りましょう」

成人看護学方法論4 終末期の看護 (吉本先生)

令和7年8月25日(月)実施

成人看護学方法論4 肝臓疾患患者の看護 単位認定試験問題

内田先生

【1】

①	生命を脅かす疾患に関する問題
②	患者とその家族
③	心理社会的問題
④	QOL改善

【2】

①	0	②	X	③	0	④	X	⑤	X	⑥	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【3】

①	イ	②	イ	③	7	④	エ	⑤	<del>エ</del>	
⑥	7	⑦	エ	⑧	ア	⑨	イ	⑩	7	
⑪	エ									

- 2

【4】

①	エ	②	ア	③	ア
---	---	---	---	---	---

53  
点/55点